

施策マネジメントシート

基本施策名	1 0 高齢期の充実した生活への支援	施策 統括課	高齢者支援課	氏名	馬場一嘉
政策名	4 保健・福祉	主な 関係課	地域包括ケア推進担当、健康づくり担当、福祉総務課		

1 施策の目的と指標

① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

65才以上の市民(高齢者)

② 施策の目的

高齢者が生きがいを持ち、地域社会を支える一員としていきいきと活躍できるように環境を整えるとともに、病気や認知症になっても住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるまちは目指す。

③ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

	名称	単位
ア	65才以上人口	人
イ		
ウ		
エ		

④ 成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

	名称(展開方向ごとに記載)	単位
1	ア 75歳以上の要介護認定率	%
	イ 自主活動グループ数(活動場所)	箇所
2	ア 高齢者の就労率	%
	イ 高齢者の社会参加率	%
	ウ 孤立化のリスクが高い高齢者の割合	%
3	ア 高齢者からの新規相談対応件数	件
	イ 市が高齢者の相談や支援を充分に行っていると思う市民の割合	%
4	ア 要介護認定者のうち在宅で過ごす人の割合	%
	イ	

2 第2次基本計画期間(令和2~令和9年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 介護予防と生きがい活動の推進	高齢者が自らの健康管理に努め、予防的な観点を生活に取り入れながら、いきいきと暮らせるように支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆元気な高齢者も対象とした生きがい活動ともなる事業を中心に、介護予防事業を推進します。 ◆高齢期の生活や健康の保持について学びあうことができる環境を整えます。 ◆高齢者のサロン活動や生きがい就労を支援します。 ◆高齢者自らが主体となった介護予防活動を推進し、フレイル(虚弱)を防止します。 ◆地域の集いの場の創出を支援し、高齢者の社会参加を促します。
2 高齢者の支え合い体制の構築	高齢者の孤立を防止し、社会参加を通じて、つながりのある支え合い体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者の見守り活動等により、元気な高齢者が、周り的高齢者を支える仕組みづくりを推進します。 ◆生活支援の基盤としてのシルバー人材センターとの連携を強化します。
3 安心して暮らせる生活基盤の充実	高齢者やその家族が安心して生活できるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活、介護、医療等の相談を総合的に受け、きちんと支援につながるようきめ細やかに対応します。 ◆高齢者の生活に関わる意思決定を本人が行えるよう支援します。
4 高齢者の在宅療養生活の充実	加齢に伴い、病気や認知症になっても、安心して地域で暮らせるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ◆医療と介護、保健が連携した在宅療養の支援体制を整備します。 ◆認知症の特徴や認知症の方への対応などについて市民へ周知・啓発を行うとともに、地域を巻き込んで日常生活を支える取り組みを進めます。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

		単位	数値区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R9年度	目標達成度			
対象指標	ア	人	見込み値					17,938	18,135	18,289	18,569	19,777	目標達成度			
			実績値	16,887	17,190	17,437	17,756	18,008								
	イ		見込み値											達成・未達成	前年度比較	
			実績値													
ウ		見込み値														
		実績値														
エ		見込み値														
		実績値														
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値									未達成	低下		
				目標値	32.5	32.1	31.7	31.3	30.9	30.5	30.1	29.7				
				実績値	33.2	33.4	34.0	34.4	35.1%							
		基本計画における指標の説明又は出典元				75歳以上の要支援・要介護認定者数/75歳以上高齢者数										
		イ	箇所	成り行き値											達成	向上
				目標値	55	77	80	123	124	125	126	127	131			
	実績値			74	108	122	113	124								
	基本計画における指標の説明又は出典元				市が把握する高齢者の自主活動グループ数											
	展開方向2	ア	%	成り行き値												
				目標値				26.0			26.0					
				実績値	21.3	-	-	15.0	-	-						
		基本計画における指標の説明又は出典元				日常生活圏ニーズ調査の抽出数(収入のある就労者/調査回答者数)										
		イ	%	成り行き値												
				目標値				12.6			17.6					
	実績値			18.1	-	-	20.9	-	-							
	基本計画における指標の説明又は出典元				日常生活圏ニーズ調査の抽出数(見守り支援活動参加者数/調査回答者数)											
	展開方向3	ウ	%	成り行き値												
				目標値	6.3			6.0			5.5					
				実績値	15.9	-	-	6.2	-	-						
		基本計画における指標の説明又は出典元				日常生活圏ニーズ調査の抽出数(閉じこもりリスクのある高齢者数/調査回答者数)										
		ア	件	成り行き値											達成	向上
				目標値	3,445	3,455	3,465	3,475	3,485	3,490	3,495	3,500	3,520			
	実績値			3,699	3,963	3,987	3,815	4,732								
	基本計画における指標の説明又は出典元				高齢者からの新規相談対応件数											
イ	%	成り行き値											未達成	向上		
		目標値		30.8	36.4	42.0	47.5	53.1	58.7	64.3						
		実績値	25.3	23.1	25.5	26.5	26.7									
基本計画における指標の説明又は出典元				国立市市民意識調査												
展開方向4	ア	%	成り行き値										達成	向上		
			目標値	80.9	81.3	81.7	82.0	82.2	82.4	82.6	82.7	83.1				
			実績値	79.5	86.1	87.6%	87.7%	87.9%								
	基本計画における指標の説明又は出典元				施設未利用の要介護認定被保険者数/要介護認定被保険者数											
	イ		成り行き値													
			目標値													
実績値																
基本計画における指標の説明又は出典元																
事務事業数				本数	36	36	36	36	36							
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円												
			都道府県支出金	千円												
			地方債	千円												
			その他	千円												
			一般財源	千円												
			事業費計(A)	千円										0		
	延べ業務時間	時間														
	人件費	人件費計(B)	千円													
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

4 施策の成果指標実績値に対する評価

(1) 施策全体の成果実績目標達成度 A(高度に達成)~E(ほぼ未達成)

(2) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

(3) 上記(1)(2)の理由・背景として考えられること(数値で表せない定性的評価もあれば記載する)

展開方向1のア、75歳以上の要介護認定率以外ではある程度目標を達成している指標があるが、この目標が達成されていない理由として、85歳以上の高齢者割合が増加していることが考えられる。
(R2年3月末85歳以上被保険者3,065人、認定者1,909人、認定率62.28%。R3年3月末85歳以上被保険者3,259人、認定者2,022人、認定率62.04%。)

5 施策の現状 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・2025年には団塊の世代が75才以上となり、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となる(国)。今後、高齢化が進むと医療と介護を必要とする方がますます増加していくが、現在の医療・介護サービスの提供体制のままでは十分対応できないと見込まれている。

・2025年を目途に、病気になっても要介護状態になっても住み慣れた地域で生活が送れるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していく必要がある。

・地域包括ケアシステムを具体化していくための3年に一度の介護保険法改正が令和3年度に実施されている。

・3年一度の介護保険法改正に関連し、第8期介護保険事業計画を令和3年度からの3カ年計画として策定したが、同計画の進捗状況に応じた評価を行い、PDCAサイクルを実施する法改正が施行されている。

・「認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会」の実現を目指していく。

・地域包括ケアシステムの構築をさらに推し進めるため、社会情勢の変化に対応した高齢者支援施策の模索が必要とされ、いくつかの事業についてさらなる見直しに取り組んでいる。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・住民からは「今後自分たちに介護が必要となってきたときに、安心して生活できるのか」「認知症になったらどうすればいいのか」という不安の声が寄せられている。

・介護施設と地域の拠点が一本化された運営をしてほしい。

(3) この施策に関して他自治体の取組状況と比較して国立市の取組状況はどうか？

・地域包括ケアシステムの構築に関しては、直営の地域包括支援センターを中心とした取り組みにより、他市に対して先進性を保っている。

(4) 施策の具体的な取組状況

2年度の取組状況	3年度の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・第8期介護保険事業計画と第6次高齢者保健福祉計画を一体のものとした地域包括ケア計画を策定した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大予防に配慮した介護予防事業を実施した。 ・市内介護保険事業所に対し、新型コロナウイルス感染症への対策について支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画のPDCAサイクルを引き続き実施する。 ・新型コロナウイルス感染症に対応した更なる取り組みを検討する。

6 2年度の評価結果 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)※基本的に展開方向ごとに記載

総合基本計画に照らして評価する(目的達成のための事務事業が適切か、事務事業の実施方法は適切か)

○成果実績

展開方向

1. 介護予防と生きがい活動の推進……フレイル予防の着実な展開により自主活動グループも増加している。
2. 高齢者の支え合い体制の構築……見守りネットワーク事業などに取り組み見守り活動参加率が増加している。
3. 安心して暮らせる生活基盤の充実……地域包括支援センターにおける医療介護連携の取り組みなどにより、総合的な相談支援体制が充実しつつある。
4. 高齢者の在宅療養生活の充実……医療と介護が連携した在宅療養の支援体制の整備が進み、在宅で過ごす人の割合が増加している。

○改善余地のある事項・課題等

展開方向

1. 介護予防と生きがい活動の推進……介護予防と保健事業の一体的実施により更なる健康寿命の延伸への取組。
3. 安心して暮らせる生活基盤の充実……地域包括支援センター地域窓口の機能強化と他部門との連携強化による重層的支援体制整備事業への取組。
4. 高齢者の在宅療養生活の充実……認知症支援策の充実。

(2) 施策の2年度における総合評価

B

成果実績数値の評価(A~E)に、4(3)及び6(1)の定性的要素を加味した評価

A:目標とする成果を挙げており、社会的要請にも十分応えられている。

B:一定の成果を挙げているが、向上・改善の余地がある。

C:成果向上のため、一層の努力が求められる。

D:成果に乏しく、改善が急務である。事業の一部に見直しが必要である。

E:現状の事業では施策の目的を達成することが困難であるため、抜本的な見直しを要する。

7 施策の課題・今後の方向性 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 4年度の取組方針

展開方向

1. 介護予防と保健事業の一体的取り組みの実施
3. 重層的支援体制整備事業への取り組み

(2) 中期的な取組方針(概ね実施計画期間を想定)

「2025年問題」と言われる令和7年を念頭に、住民主体の生活支援体制の実現、介護予防と保健事業の一体的実施、地域共生社会実現に資する重層的支援体制の整備に取り組むことで「地域包括ケアシステム」の構築を推進する。

8 施策を構成する事務事業の今後の方向性

番号	事務事業コード	事務事業名	展開方向	所管課	事業概要	事業費(千円) (R2決算額)	事務事業評価 (コスト)	事務事業評価 (成果)	施策から見た 今後の方向性
1	0116000	敬老大会運営事業	展開方向1	高齢者支援課	75歳以上の高齢者を対象に敬老大会を開催し、高齢者を敬い祝賀する事業。	125	削減	維持	現状維持
2	0116100	長寿慶祝事業	展開方向1	高齢者支援課	年度内に88歳・99歳・100歳に到達する方に、祝い金等を渡すことにより、敬老と長寿を祝う事業。	4,708	削減	維持	現状維持
3	0116400 0116500 0116600	老人クラブ関連事業	展開方向1	高齢者支援課	老人クラブの運営費を助成する事業。また、市老人クラブ連合会の運営への助成を行っている。	8,860			
4	0116700	デイ・ホーム運営事業	展開方向1	高齢者支援課	家庭にひきこもりがちな高齢者が、定期的に通所し、社会交流の促進、心身機能の維持向上、生きがいのある生活などにつなげる事業	7,941	維持	向上	現状維持
5	0116900	高齢者保養施設利用助成事業	展開方向1	高齢者支援課	65歳以上の方が、一泊5,000円以上の宿泊費を伴う保養施設を利用した場合、その宿泊料の一部を助成することにより、高齢者の健康増進、いきがいづくりなどにつなげる事業。	814	削減	維持	現状維持
6	0117000	高齢者レジャー農園事業	展開方向1	高齢者支援課	概ね60歳以上の人に対し、無償で農園の貸出を行うことで趣味活動を助長し、社会参加を促すことにより、生きがいをもって地域に住み続け、健康増進につなげることを目的とする事業。	374	削減	維持	現状維持
7	0117600	シルバーパス交付協力事業	展開方向1	高齢者支援課	東京都が満70歳以上の都民を対象に発行する「東京都シルバーパス」(住民税非課税者は年間1,000円、課税者は20,510円の費用で都バス、都営地下鉄、都電、都内民営バスを利用できるカード)を、月初の平日5日間に開設される国立市内の臨時窓口において都の委託によりシルバー人材センターが交付する事業に対して、市が協力する。	75			
8	0118195	元気高齢者の居場所づくり事業	展開方向1	高齢者支援課	富士見台二丁目遺贈土地・建物について、当該施設「ひらや照らす」の有効利用のために維持管理等を行う。	297			
9	0120200	高齢者等健康増進事業	展開方向1	福祉総務課	くにたち福祉会館条例に基づく、くにたち福祉会館諸事業一般(福祉会館施設管理事業、老人福祉センター運営事業に関する部分は本事業から除く)。くにたち福祉会館条例第3条第1項第1条を根拠として行う「福祉会館で行う事業(高齢者の健康増進並びに教養の向上及び娯楽に関する事業)」を指す。	24,579			
10	3503950	二次予防事業対象者向け介護予防事業(短期集中予防サービス)	展開方向1	高齢者支援課	介護保険による要支援1、要支援2の認定を受けている方を対象とした、運動器機能向上事業、口腔機能向上事業を実施。	11,302	維持	維持	拡充
11	3503970	介護予防一般高齢者施策事業(一般介護予防事業)	展開方向1	高齢者支援課	地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指す事業	22,406	維持	維持	拡充
12	0114500	老人保護措置事業	展開方向3	高齢者支援課	老人福祉法の規定により、市内在住の65歳以上の人に対し、福祉の増進を図るため、必要に応じて施設入所措置した人に要する費用を負担する事業。	34,691			

番号	事務事業コード	事務事業名	展開方向	所管課	事業概要	事業費(千円) (R2決算額)	事務事業評価 (コスト)	事務事業評価 (成果)	施策から見た 今後の方向性
13	0115100	ふれあい牛乳支給事業	展開方向3	高齢者支援課	70歳以上一人暮らしの者に対し、週に3本の牛乳等を支給することで、健康増進と孤立防止を図る。	11,853	削減	維持	現状維持
14	0115200	借上げ住宅提供事業	展開方向3	高齢者支援課	住宅困窮者に対し、市が借上げた住宅(全7戸)を提供することにより、当事者の住居確保に寄与する。	5,838	削減	維持	縮小(廃止)
15	0115500	高齢者緊急通報機器貸与事業	展開方向3	高齢者支援課	慢性疾患等により日常生活を営む上で常時注意を要する状態にある者または70歳以上の一人暮らしの者を対象に緊急事態における不安解消と生活の安全確保のため緊急通報機器を貸与する。	20,214	削減	維持	現状維持
16	0115900	老人福祉電話事業	展開方向3	高齢者支援課	概ね65歳以上の世帯であり、電話を有していない世帯。また、近隣に親族が居住していない非課税世帯で、定期的に安否の確認を行う必要がある方に電話機(固定電話)を貸与する事業。	178	削減	維持	現状維持
17	0116200	在宅サービスセンター管理運営事業	展開方向3	高齢者支援課	介護保険法に規定する通所介護サービス施設で公設民営であるくたち北高齢者在宅サービスセンターの施設管理運営を行う事業である。	1,767			
18	0117300	特別養護老人ホーム建設費補助事業	展開方向3	高齢者支援課	原則として65歳以上の人で、身体上又は精神上著しい障害があるため、常時介護を必要とし、かつ居宅において介護を受けることが困難な高齢者が入所する特別養護老人ホームを社会福祉法人等が建設する際、市と社会福祉法人の間で協定書を締結し、建設費の一部を補助することで、市民用ベッドを安定的に確保する事業。	4,539			
19	0117800	高齢者住宅費助成事業	展開方向3	高齢者支援課	民間アパート等に居住するひとり暮らし高齢者に対して、住宅費の一部を助成することにより、高齢者の居住の安定を図る事業。	7,125	維持	維持	現状維持
20	0118120	高齢者を熱中症等から守る緊急対策事業	展開方向3	高齢者支援課	高齢者を熱中症から守るために、市内公共施設のほか、市内各商店に熱中症に対する注意喚起と緊急時における避難先となる旨を表記した告知物を掲出することで高齢者へ熱中症予防をPRし、外出先等で熱中症の症例が出た場合でも緊急対処できる体制を市内全体で構築する事業。	300	維持	向上	現状維持
21	0118150	高齢者救急医療情報キット給付事業	展開方向3	高齢者支援課	救急時、正確な医療情報を第三者に提供することで、救命医療につなげる情報キットを75歳以上のひとり暮らし高齢者または75歳以上の高齢者のみの世帯を対象に配付する事業。	292	削減	向上	拡充
22	3500900	介護保険運営協議会運営事業	展開方向3	高齢者支援課	介護保険運営協議会の運営に係る事務	723	維持	維持	現状維持
23	3504300	生活援助員配置事業	展開方向3	高齢者支援課	東京都シルバーピア事業運営要綱に基づき設置された市内の高齢者向け集合住宅に居住する高齢者が、安全且つ快適に生活できるよう、安否確認等を行う生活援助員を常駐させ、生活指導、相談、安否確認等のサービスを提供する事業	15,557	維持	維持	現状維持
24		地域包括支援センター運営事業	展開方向3	高齢者支援課	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する地域包括支援センターを運営する事業	149,923	維持	維持	現状維持

番号	事務事業コード	事務事業名	展開方向	所管課	事業概要	事業費(千円) (R2決算額)	事務事業評価 (コスト)	事務事業評価 (成果)	施策から見た 今後の方向性
25	0114700	寝具乾燥消毒事業	展開方向4	高齢者支援課	加齢に伴う心身の障害及び疾病等により寝たきり状態にあるため、寝具の衛生管理が困難な方を対象とし、月1回の寝具の乾燥及び年1回の水洗いを実施する。	140	削減	維持	縮小(廃止)
26	0114800	高齢者食事サービス事業	展開方向4	高齢者支援課	日常の買物や炊事等に支障がある者またはそれらの行動が困難な状態に者を対象とし、手渡しによる夕食の配達を通じて、利用者の安否確認を実施する。	27,437	維持	向上	現状維持
27	0115000	外出支援サービス	展開方向4	高齢者支援課	介護保険法による要介護認定が要介護1以上であり、心身に障害があり、交通機関の利用が困難である市民税非課税世帯の方を対象に1枚300円相当のタクシー利用券を月9枚を超えない範囲で発行する。	4,615	維持	維持	現状維持
28	0115600	高齢者位置情報把握端末貸与事業	展開方向4	高齢者支援課	市内在住の概ね65歳以上で認知症により日常的に外出して帰宅できなくなる高齢者の位置情報を把握・提供し、外出先で帰宅できなくなった高齢者を早期発見及び保護する	826	維持	向上	拡充
29	0115700	高齢者自立支援住宅改修給付事業	展開方向4	高齢者支援課	介護保険サービスが受けられず、且つ身体機能の低下等で住宅の改修が必要と認められる方または介護度に関係なく、住宅設備の改修が必要と認められる方に、当該改修に係る費用の一部を給付することで、日常生活の利便性と在宅生活の質の向上を図る	778	維持	向上	現状維持
30	0115800	高齢者自立支援日常生活用具給付事業	展開方向4	高齢者支援課	虚弱高齢者であって、介護認定が非該当だったが、本人の心身の状態を勘案し、日常生活用具を給付することで生活の利便性と安全性または質の向上を図る	0	維持	向上	現状維持
31	0117450	高齢者在宅生活支援サービス補助事業	展開方向4	高齢者支援課	介護支援専門員また福祉住環境コーディネーター検定試験2級以上その他これに準ずる資格を有するものが住宅改修の理由書を作成した場合および介護支援専門員が食事サービス新規申込者のアセスメントを行った場合に助成する事業。	22	維持	維持	現状維持
32	0117500	介護保険サービス利用負担軽減事業	展開方向4	高齢者支援課	介護保険サービスを利用する低所得者に対し、社会福祉法人がその社会的役割により、利用者の負担を軽減した利用者負担額の1/2を助成する事業。	500	維持	維持	現状維持
33	0118000	シルバーピア維持管理事業	展開方向4	高齢者支援課	国立市シルバーピア生活援助員配置事業実施要綱に定めるシルバーピアの団らん室における高熱水費等を負担することにより維持管理を図る。	946			
34	3503300	介護保険特別給付おむつ給付事業	展開方向4	高齢者支援課	市内在住で、介護保険法に定める要介護認定を受けその要介護状態区分が要介護3・4・5で、常時おむつを必要としている人に、市が指定するおむつの中から利用者が必要なものを選択し、月5,000円を限度に給付する事業。	12,060			

番号	事務事業コード	事務事業名	展開方向	所管課	事業概要	事業費(千円) (R2決算額)	事務事業評価 (コスト)	事務事業評価 (成果)	施策から見た 今後の方向性
35	3504320	在宅医療・介護連携推進事業	展開方向4	高齢者支援課	高齢者等が在宅で安心して療養できる環境を整備することについて、医療、保健及び福祉の関係機関が連携して推進するため協議会を設置し、在宅療養支援体制に関することや在宅医療に係る調整、相談及び助言に関すること、かかりつけ医、診療所、病院間の連携に関すること、地域医療関係者の人材育成に関することなど課題だしをする事業。	16,144	維持	維持	現状維持
36		介護保険制度運営事業	展開方向4	高齢者支援課	介護保険制度の運営に係る事務	5,485,545	削減	向上	現状維持

※展開方向の順に記載してください。

※必要に応じて行を追加してください。

※「事務事業評価(コスト)」、「事務事業評価(成果)」及び「施策から見た今後の方向性」の欄が空欄の事務事業は、令和2年度においては事務事業評価を実施していない事業である。